

一歩

市内大会報告会・県大会激励会 ～目に見えた「努力」の姿～

昨日の5限後、報告会・激励会が行われました。多くの部活動ががんばりを結果につなげ、県大会への出場権を得ました。おめでとうございます。

昨日の報告会・激励会で「見た目でわかる強さ」のポイントがありました。生徒のみなさんの中で、気づいた人もいないのではないでしょうか。体育着の半袖・ハーフパンツになっているか否かです。

入賞したチームと選手、県大会に出場したチームと選手は、ほぼ全員が半袖・ハーフパンツ姿で報告会・激励会に臨んでおり、その姿で全校生徒の前に立ちました。「ほぼ」とは、入賞し、県大会に行く選手のうち、3年生では1名のみが長袖を着て表彰を受けていました。そして、残念ながら入賞や県大会に行けなかったチームや選手は、長袖・長ズボンの体育着姿で並んでいる部がほとんどでした。



これほど明確に現れるものかと驚きました。入賞し、上位大会に出場するチーム・選手と、そうでないチーム・選手の服装の違いでした。半袖になること、ハーフパンツでいることに何の意味があるかを感じない人にとっては、そんなことはどうでもいいと思うことでしょうか。校長先生が「気持ちで負けるな」と激励会で話してくれました。「気持ちで負けない」ために、毎日の練習で何を心がけてきたか、どのレベルの細かなことまで気を配り取り組んできたかが、大会の結果に現れ、報告会・激励会の服装に現れていると考えます。細かなところに気を配れて、それをできるまで積み重ねてきたことが結果となっていくのです。

昨日の報告会・激励会で、長袖体育着を着ていることは悪いことではありません。しかし、服装に気遣いできる選手やチームが、大会や試合でも相手からわずかなリードを奪い、その差のまま勝利につなげていったと思われまます。わずかな差を付けるために、小さなことを継続して積み重ねていった結果、接戦でも勝利を勝ち取る選手、チームになるのです。小さな積み重ねの継続、それを「努力」と呼ぶのです。

大会や試合で大きな差を付けて勝利できることは、それほど多くありません。よほど力に大きな差があるか、こちらの作戦がうまくいった結果、大差になったと考えた方がいいでしょう。それが対戦相手のいるスポーツ勝負の実状です。勝利するために必要なことは、派手なプレーではなく、基礎・基本を大切に地道な取り組みを続けることです。



「努力」を大空祭に活かす

これから大空祭の準備活動が始まります。体育祭のリーダーは、他連合に勝利したい、みんなが満足する連合活動にしたいと思っていることでしょう。自分たちが計画するだけで応援が完成するわけではありません。リーダーが、連合のみんなにどのように教え、伝えるかは大切です。そして、報告会・激励会での服装のように、練習の基盤となる毎日の取り組み姿勢をどのように築き上げていくかも大切です。いわゆる「当たり前」のことを、連合内で共有し徹底することです。連合練習のときに、みんなが共通して取り組むことを取捨選択しなければいけません。個々が勝手な判断をして、そろえたいところでバラバラになってしまうようでは困ります。服装をそろえることが有効なのか、時間に気を配ることが必要なのか、最初に連合でみんなが取り組む最低限の約束はあってよいでしょう。ポイントを絞って、みんながまとまるために最小限必要なことは全員に伝え、がんばってもらう。全員に話しても、一度に全員ができるものではありません。その後、個別に教えていったりして、徐々にみんなが一つになっていくのです。「自分の連合でがんばりたい」と考えていても、そのがんばりたい内容や行動は一人一人違うものです。リーダーがあいまいな指示しか出さず、個人に任せて団結すると、膨大な時間が必要です。短期間で連合をまとめなければいけない大空祭では時間が足りないと思われます。バラバラでスタートすると、その後それをまとめるために大きな修正が必要となり、たくさんの時間と労力をかけなければいけません。そんなことばかりしていたら、創造的な応援に知恵や労力を回す時間やゆとりがなくなってしまいます。当然、その連合は最初から苦しいスタートで挽回は難しくなります。



例えば、最初に「自由にしていよいよ」「自由にやろう」と言ったばかりに、連合のみんなはおしゃべりばかりして話を聞かない、そのため指示の聞き逃しが多く、徹底しない。そんな状態では、一つにまとめた応援、団結した連合などを決められた時間内に創り上げることは難しいでしょう。伝え方も気を付けなければいけません。

One for all/
all for One

日常生活では「自由」や「個性」が大切です。選択する「自由」や、自分の特徴を活かした「個性」の尊重が大切なのは当然です。その自由や個性も、みんながすべて好き勝手に出していくと、連合として一つにまとめていくのはとても難しくなります。自分の考えを出すべき時に意見を言い、話を聞くとときは他人の話をしっかり聞く。話し合いのルールがあつての集団活動です。そのうえで、集団としてリーダーたちが上手に練り上げていく活動が連合活動です。

大切なことは
いつも
当たり前
の中にある。